

# “時事英語—アフリカと日本の絆”通信

NO. 7

2019年7月1日発行

NPO 法人 時事英語—アフリカ  
と日本の絆(CCAJ)

<http://ccaj01.stars.ne.jp/>

☎ 042-531-1887(代表:熊田)

\* 第 42 回 柴崎学習館すわっ祭「シュクルさんとロドリグさんをお迎えして」

\* 第 2 回 東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター

センター長 武内進一教授による公開講座

## 1：大切なお知らせ、NPO 法人設立について

当会は、今年3月15日に、特定非営利活動法人(NPO 法人)の設立が認証されました。活動のさらなる充実を目指し、会員一同心を新たにして活動に励んでおります

## 2：公開講座「アジア・アフリカの新しい関係をどう見るか」

立川市の主催、当会の共催として、東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター センター長の武内進一教授をお招きし、公開講座が開かれました。武内教授をお迎えするのは昨年に続き2度目で、当会にとっての一大イベントを無事開催することが叶いました。30人程の参加者と、大変有意義な時間を共有することができました。前回のテーマ「アフリカの人々と暮らし」から一転し、今回は政治や経済の視点を中心としたお話しでした。ここでは、

中国の対アフリカ援助の特徴について、3つのポイントを紹介します。①：経済援助に人権問題の改善等の条件(コンディショナリティ)をつけない。②：政治・経済両面からの一貫した政策で、世界に先がけて積極的に支援を行っている。国連での活動(PKO 派兵など)も活発で、影響力を強めている。③：総合的にみると、中国の対アフリカ支援は経済論理に則った行動であり、米国トランプ政権のボルトンの中国批判は不当である。タイムを読んでいる会員にとっても、③の方向性までは行き着くのですが、先生の歴史的な広い視点からのみごとに明確な根拠に、深く感動しまし

た。3：シュクルさん&ロドリグさん立川市で大活躍！！

シュクルさんはルワンダ、ロドリグさんはブルンジからの、東京外国語大学への留学生です。お二人とも、武内先生の教え子さんです。3月17日、立川市の西砂児童館で、ロドリグさんがギターの引き語りを披露してくださったのをきっかけに、5月25日のすわっ祭でも歌を披露して頂き、参加者全員で手拍子を加え、アフリカ民謡のミニコンサートになりました。ちなみに、初めの歌は、アフリカの結婚式に子孫の繁栄を願って歌われる曲で、後の歌は、「清く正しく生きよ！！」と親から子への教訓を歌った曲です。世界中、親心は同じだと思いませんか？4：ヤオさんと、ベンジャミンさんの近況お二人とも、当会の生みの親とも言うべき大切な方達です。ベンジャミンさんはカナダの大学で、勉強とお仕事、母国のナイジェリアの研究活動に従事しています。ヤウさんは、ガーナ大学で教授として活躍中。残念なことに、昨年5月にメールをいただいて以来連絡がありませんので、近日中に連絡を取る予定です。

## 5：国連大学の卒業式典への参加

今年も7月の国連大学の卒業式典に参加します。世界レベルの研究者による講座・パネルディスカッションを直接聴くことのできる貴重な機会として、会員の間で人気です。さらに、今年からは、国連大学ライブラリーの古書を無料で提供頂ける特典を頂戴しました。既に10冊以上読んでいる会員もおり、古書であっても内容の新鮮さに驚いています。



2019.06.08 公開講座



2019.05.25 すわっ祭

### ★ビッグ・トピックス

- 1：NPO 法人を設立
- 2：武内教授の公開講座
- 3：第 42 回 柴崎学習館すわっ祭
- 4：ヤウさんとベンジャミンさんの近況
- 5：国連大学行事と附属図書館の利用